

1 研究のテーマ

当院での新型コロナウイルス感染対策の取り組みについて

2 研究の背景これまでの研究の概要

新興感染症として、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行した。当院では、発熱外来・入院施設として感染者の治療にあたってきた。また、ワクチンの基本型施設として、市内の各医療施設・介護施設への払出等を行った。

そして、保健所と連携してICT活動で市内の医療・介護施設へラウンドを行い国東地域の感染拡大防止に務めてきた。今回、この活動の振り返りを行い、今後の新興感染症等の対策を検討する。

3 研究の目的

当院での新型コロナウイルス感染対策についての振り返りと今後の新興感染対策を検討する

4 研究の方法

期間：2024年3月～2025年2月

対象：2020年1月～2023年12月での当院職員、当院へ受診・入院した患者

方法：当院での新型コロナウイルス発生からの当院での職員等への対策

感染者数、当院入院者数、職員の感染者数等の動向

当院でのマニュアル改訂など対応の動向の検証

保健所と連携してICTとして市内の医療・介護施設へラウンドの検証

5 参考文献

- 1) 新型コロナウイルス感染症の診療手引き：厚生労働省
- 2) 新型コロナウイルス感染症病原体検査の指針：厚生労働省
- 3) 西口幸雄,白石訓,山本紀子：新型コロナウイルス感染症[COVID-19]対応BOOK,照林社,第1版

6 研究責任者

感染対策委員会 ICT 又野 宏（総括薬局長）